

生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。どのような思いをもって、また、何を目標として新しい年を迎えられましたか。皆さん一人一人にとって実りの多い、成長の年となることをお祈りしています。

さて、今さら私が申し上げるまでもなく、新型コロナウイルスの感染拡大は収まる兆しすら見えず、本日、国の緊急事態宣言が発出される見通しです。またしても私たちの日常生活には、大幅な制限が掛けられることになるでしょう。第2学期末にもお話ししたとおり、正直に、誠実に、日々の生活を慎まなければなりません。

ただし、幸いなことに、今年度始めのような全国一斉休校の措置は回避されるようです。学校が感染拡大の場にはなり難いことが理由の一つであると、文部科学大臣の説明にありました。まさにそのとおりだと思います。手指はもちろん、机・椅子・ドアなどの消毒、マスクの着用励行、教室の換気など、授業の方法を含めて対策を工夫し、先生方がきちんと御指導くださり、何より生徒の皆さんがそれを守ってくださっています。正直に、どこまでも誠実に、これらの対策を続ける限り、少なくとも我が白井高校に集団感染は起こり得ないと、私は信じて疑いません。

しかし、何においても絶対ということはなく、少しの油断が大事に至ることもあります。3学期の始業に際して、改めて3つ、皆さんにお願いを申し上げます。

まず、毎朝の健康チェックを必ず行い、発熱や風邪症状のある場合には、絶対に登校してはいけません。微熱くらいで学校を休めないという気持ちは天晴ですが、嚴重に自宅待機してください。保護者の方が事情を御連絡くだされば、欠席扱いは致しません。

第二に、県教育委員会の指導に則って、当分の間、部活動にも強い制限を設けます。先に、学校が感染拡大の場にはなり難いと申し上げましたが、何件か報道されている学校クラスターの中心に部活動があったことは、皆さんも御存じでしょう。マスクを外す着替えの時など、特に注意していただきたい場面があります。顧問の先生方の御指導を受け、間違ってもそれを軽く考えないでください。

第三に、食事の時間のマナーについて、もう一度強く思い返して頂きたい。学校クラスターの当事者には、あれほど注意した「対面で会話しながらの食事」を、何の危機感もなく、平然と行っていた生徒がいたと聞いています。自分の席で、机を移動せず、黙って前を向いて食事すること、これは昨年6月に学校が再開された時からお願いしていたことです。校長として正直に申し上げれば、学校で食事をさせることすら恐ろしい気がしています。もう一度言います。食事は自分の席で、机を移動せず、黙って前を向いて摂ってください。

以上、年頭の御挨拶を述べるべきところ、失礼ながらお願いを3つ申し上げました。卒業と進級を判定する3学期、健康維持に留意し、甘えることなく、妥協せず、全力で頑張ってください。終わります。